

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	12	
事業名	幼稚園運営費	会計 一般	款 10	項 2	目 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 幼児期の園児	目的 (対象がどのような状態になっているか)	発達課題 (自律性、自主性) や学びの連続性を踏まえた就学前教育を充実させる。
事業内容	①〔臨時職員賃金〕充実した園運営ができるよう臨時職員を適材適所で任用する。 ②〔医師・歯科医報酬費〕健全な健康管理が行えるよう医師会と連携する。 ③〔普通旅費〕県内外への園外研修を保障する。 ④〔スポ振負担金〕園で起きた事故等による園児の怪我の治療費を保障する。 ⑤〔一般消耗品費〕子どもが伸び伸びと使える画用紙や折り紙等を保障する。 ⑥〔社会見学補助金〕全額保護者負担にならないよう社会見学費の一部を補助する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B		25,414		22,157		18,282	
財源 内訳	直接事業費 A	25,216		21,941		16,494	
	うち一般財源	10,071		9,083		8,803	
人件費 (千円) B		198		216		1,788	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.03	198	0.03	198	0.26	1716
	臨時職員 (人・千円)		0	0.01	18	0.04	72

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、保育園のニーズが高まっており、幼稚園児が極端に減少している。	③取組の課題	女性の社会進出や幼児教育の無償化に伴い、保育園のニーズが高まり、幼稚園児が減少しているが、保育園・幼稚園を合わせた園児数は増加している。
②R3年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、安心して仕事と子育てが両立出来る環境での保育運営を行なった。	④今後の改善計画	幼稚園児が減少しているため、今後の保育園・幼稚園のあり方について検討をしていく。